


第13回 週刊愛媛経済レポート賞2022

過去1年間の「週刊愛媛経済レポート」に掲載された記事の中から、特に顕著な業績を上げた事業や、他に類を見ない独創的な取り組みなどを弊社編集部が選び、「週刊愛媛経済レポート賞」として表彰します。



大賞

株式会社愛研化工機



イノベーション賞

株式会社ウォンズ
株式会社ハラプレックス
アインド株式会社



サービス賞

株式会社リスペクト
株式会社カライス



ルーキー賞

合同会社青い国 RE
せとうちプレミアム株式会社
どんぐりファーム株式会社



準大賞

株式会社大澤ミシン商会



製品賞

昭和刷子株式会社
森文醸造株式会社
株式会社別子飴本舗
株式会社 W-HARMONY



エコロジ賞

株式会社ブリチストン松山タイヤセンター
山陽物産株式会社
赤坂水産有限会社



特別賞

株式会社波止浜スーパー

*「週刊愛媛経済レポート」令和3年4月5日号～令和4年3月28日号に掲載された記事が対象 *「ルーキー賞」は、対象号に掲載された新設会社が対象 *文中人名は敬称略



[2022年1月17日号 1面]

選考ポイント

環境に配慮した独自の排水処理装置を開発。昨年には特許を取得した。インドネシアのパーム油工場から出る排水は、地球温暖化の原因などとして懸念されているが、同社の装置により、バイオガスやバイオ燃料の回収が可能。今後東南アジアでの展開も視野に入れており、大きな期待が高まる。

会社概要

代表者：岩田 真教
 所在地：松山市小村町353-6
 資本金：2,000万円
 創業：1982年
 事業内容：各種水処理装置の設計・調達、建設や運営管理などを行う。排水処理を中心に水全体に関わる処理事業を手掛け、海外での事業展開も進めている。

株式会社愛研化工機

独自の装置で工場排水による環境問題を解決

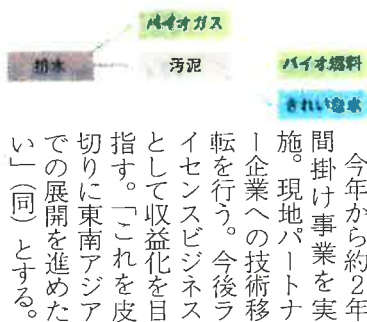
愛研化工機

パーム油工場に排水処理装置

＝再エネとして利用可能なバイオガスやバイオ燃料を回収＝



国営パーム油工場の排水処理装置の採択を受け、現地の支援事業を行う。



同社は1982年創業。各種水処理装置の設計・調達、建設や運営管理などを行う。排水処理装置は、国内の食品工場等に20基以上導入。海外でも展開している。環境保護に向け排水からのエネルギー回収に注力する同社は、EGSB（嫌気性微生物によるメタン発酵方式）を取り入れた「外部エネルギーを必要としない完全自立循環型排水処理装置」を開発。昨年3月に特許を取得した。

インドネシアは食用油などで利用されるパーム油の生産が盛ん。約700の工場がある。しかしその排水は、主にオープンラグーン（ため池）に貯蔵されており、水質汚濁や地球温暖化の原因とされるメタンガスの放散が課題だ。同社は数年前から同問題を解決するため調査を実施。2018年からはJICAが

！ム油工場に小型の排水処理装置を導入し、十分処理できるといふ試験結果が出た。引き続きJICAからの採択を受け実施する。委託費用は上限2億円。今回は前回に比べ大型の装置を設置する。導入候補場所は、インドネシアスマトラ島の東北部にある都市・メダンの国営工場。EGSBにより排水からバイオガスを回収し、それをボイラーで燃やして脱水汚泥を乾燥させる。乾燥した汚泥は、バイオ燃料となる。「工場で燃料に使用しているヤシ殻の代替にすることで、ヤシ殻は燃料などとして売却が可能」とする。処理能力は15.0立方メートル/日。

今年から約2年間掛け事業を実施。現地パートナー企業への技術移転を行う。今後ライセンスビジネスとして収益化を目指す。「これを皮切りに東南アジアでの展開を進めた」（同）とする。

インドネシアに導入

（株）愛研化工機（松山市小村町、岩田真教社長）は、インドネシアのパーム油工場に排水処理事業に取り組み、現地のパーム油工場に同社が開発した排水処理装置を設置。回収したバイオガスやバイオ燃料は再エネルギーとして利用できる。インドネシア内での普及や現地パートナー企業への技術移転を目指す。今年から本格的に開始する計画。